



## 土間縁側のいえ

受け継ぐこと、育むこと

農業を営まれるご実家の敷地内に建つ築70年以上の大きな母屋を建て替え、ご夫婦2人の住宅の計画です。母屋の建て替えにあたり考えたことは、要望に合わせてただ新しい住宅をつくるのではなく、「受け継ぎたいことは何か」「これから育みたいものは何か」でした。周辺は田畑が広がるのどかな地域であり、風が吹けば土のにおいがするようなエリアです。この地に相応しい景色の一つになるように、屋根の形や外壁などは違和感のないよう且つ旧母屋のどっしりした立派な印象を受け継ぎたいと考えました。周辺の環境に対してはおおらかに開き、ご両親が暮らす敷地内の離れとはちょうどよい距離感を保つことも大切に計画しました。母屋となるので法事が行える仏間のある和室を設けることは必要要件の一つでしたが、親族やお坊さんが玄関を通ることなく和室へ訪れることができるように庭からテラスを通して室内に繋がる土間縁側を設けました。友人達が遊びに来やすい家としたいという要望もこのテラスと土間縁側によって叶えられたと思います。お仏壇へはご両親も頻繁に手を合わせに来るでしょうが、お互いが気兼ねなく過ごせるように和室は離れ的な位置とし、LDKとは土間縁側によってゆるく繋がります。この土間縁側を暮らしの中心とし、ウチとソト、プライベートとパブリックを分けたり繋いだりしながら、大屋根の下で人々が集まりコミュニティを育み、光や風を感じて季節や天候の匂いや音を楽しみながら暮らせる、あっけらかんとした自由な住宅となりました。

受け継ぐこと

育みたいこと

- 大屋根のどっしりした佇まい
- 軒を大きく出し夏の日差しを対策
- 軒を大きく出し雨風をしのぐ(台風が多いエリア)
- 法事が行える仏間のある和室
- 人々が気軽に寄りやすい広縁のような機能

- 庭を楽しみたい
- ～ウチソトをシームレスに
- 友人を気軽に呼びたい
- ～土間縁側を玄関がわりに
- おおらかに暮らしたい
- 風を感じる暮らし
- 北側の畑への抜け
- 両親との程よい距離感

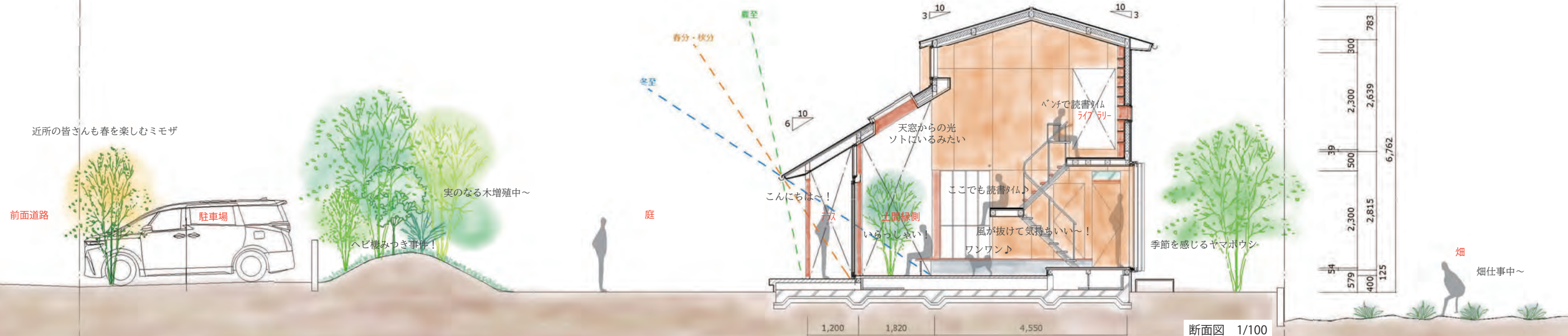


旧母屋：オーソドックスな農家住宅  
どっしりと大きな2枚屋根  
南側に開口部が並び広縁を挟んで各室へとつながる間取り  
ご近所さん達とお茶したり、近くに住む甥っ子達が寄る時はこの広縁が玄関替わりとなっていました

庭より：平側入り、大きく下した屋根面、2階部分を腰屋根風にし二重屋根のように見せることで旧母屋の面影を感じられます  
広縁ではなく土間を室内へ取り込むことでウチソトのつながりを更にシームレスに  
親族や友人が遊びに来た時、法事の時などはテラスから土間をエントランスのようにつかい、あっけらかんとのびやかなコミュニケーションの場となりました



|       |            |
|-------|------------|
| 建物概要  |            |
| 所在地   | ：愛知県額田郡幸田町 |
| 主要用途  | ：専用住宅      |
| 家族構成  | ：夫婦2人      |
| 構造    | ：在来木造      |
| 回数    | ：地上2階      |
| 敷地面積  | ：689.01㎡   |
| 建築面積  | ：84.03㎡    |
| 1階床面積 | ：67.61㎡    |
| 2階床面積 | ：42.23㎡    |
| 延床面積  | ：109.84㎡   |





風の通り道  
居場所をつなぐ家の中心



家族の図書室 [ライブラリーコーナー]  
踊り場ベンチやお気に入りの段に座って本を好きなように読む



扉を開けば和室・土間・リビングはひとつなぎに



座ってまったり過ごす土間縁側



風が見える瞬間



和室から土間、テラス、庭を眺める  
ソトとウチがゆるゆると繋がる



ウチソトをつなぐ  
深い庇のテラス  
大きな玄関



アオダモに隠れた小さな玄関  
家族の入口

